

Bibliophiles

ビブリオフィルス No.3(2019年度)

新着図書案内・お知らせ 西宮東高校図書館



アガサ・クリスティーの3作品が新訳で入りました!

ギネスブックが「史上最高のベストセラール作家」と認めるクリスティー。本校の蔵書もずいぶん古くなってきていますので、随時、新訳に交換していきます。

名探偵ポワロの元に「ABC」という名前の人物から「今月21日のアンドーヴァーに注意せよ。」との犯行の予告状が送られてきます。このAが頭文字の「アンドーヴァー」という町で同じくAが頭文字の老婆が殺されて・・・傑作と評価の高い『ABC殺人事件』のほか、『春にして君を離れ』『ゼロ時間へ』を入れています。

新「一万円札」の顔・渋沢栄一の本をご紹介します!

キリンビールや「午後の紅茶」などで有名なキリンホールディングズ、京阪電鉄、帝国ホテル・・・渋沢栄一は、これらの誰でも知っている有名な会社も含めて500以上の企業の設立に関わり、「日本資本主義の父」とまで称えられています。新一万円札の顔と決まった記念に、彼の主著の一つである『論語と算盤』の現代語訳と、名言の数々をまとめた『渋沢栄一 100の訓言』を購入しました。

2019年度本屋大賞受賞本が入りました!

作家や評論家ではなく、書店の店員が選ぶ賞として、本好きから絶大に支持されている本屋大賞。その今年を受賞作である瀬尾まいこ『そして、バトンは渡された』が入りました。タイトルは、色々な事情で主人公の親が次々と変わり、親から親へと主人公が受け渡されていったことを表しています。心あたたまるストーリーをあなたもぜひ味わってみてください。西尾維新の『混物語』や三浦しんの『愛なき世界』も入りました。

『海外ドラマはたった350の単語でできている』 Cozy

英語のリスニング。(本当は英語では「グ」とは発音しませんが) 難しい、と誰もが思っていますよね? でも『Sex and the city』と『Friends』という人気ドラマを調べてみたら、どちらも使われている単語の約8割が頻出350の単語で出来ていたんです。ネイティブの話すスピードは恐ろしく速いですが、大丈夫です。単語自体はhaveとかrightとか、中学レベルのものが中心なので、それらを制覇して聞き取り力を高めましょう。

『可動域ストレッチ&トレーニング事典』

監修：中里賢一 医学監修：奈良信雄

ストレッチが準備運動として有効なのは、みなさんご存知でしょう。しかし、どのタイミングでどんなストレッチをすべきか、という医学的な説明はなかなか難しいのではないのでしょうか。本書は、特に筋肉や関節の「可動域(動かせる領域)」を発達させることをメインテーマに、スポーツ等に必要なストレッチをカラー写真付きで解説してくれます。なおDVDもついていますので、図書館内のみの利用となりますが、動画で実際のストレッチをチェックできますよ。

『瀬戸内国際芸術祭 2019 公式ガイドブック』

今年は、3年に1度、瀬戸内の島々で芸術祭が開催される年です。現代美術に興味のない人は、「美術は美術館で見るとでしょ?」と思ってるかも知れませんが、さにあらず。港の一面や浜辺、普通の民家や畑など、まさに「そこらじゅうに」作品は飾られています。ただ見るだけではなくて、音楽と一緒にパフォーマンスもありますし、コンサートや茶の会、作品で遊んだりといった「体験型」の展示もあります。瀬戸内の観光や海水浴なども兼ねていかがですか。「二十四の瞳」で有名な小豆島をはじめ、直島や高松港など、8つの島と2つの港で開催されます。ただいま春の会期が開催中(5/26まで)で、夏(7/19~8/25)や秋(9/28~11/4)もやっていますよ。



『転生したらスライムだった件』

原作：伏瀬 漫画：川上泰樹

もとはウェブ小説として出発し、今はラノベや漫画、TVアニメやゲームにまで広がっている人気ファンタジーです。取りあえず漫画で3巻までを買ってみましたので、借りる人が多ければ続きも買います!

『ザ・ヘイト・ユー・ギヴ(あなたがくれた憎しみ)』 アンジー・トーマス

アメリカの黒人街で育った主人公の女子高生は、ある日、幼馴染の黒人少年が警官に撃ち殺されるところを目撃します。ところが警察は、無抵抗の少年を撃った白人警官の行為を正当化するために、死んだ彼女を極悪人に仕立て上げようと工作をし始めるのでした・・・

人種差別と闘う若者の姿をリアルに描き、アメリカの文学賞を受賞したこの作品は、この夏の読書感想文の課題図書にもなりました。なお、映画がDVDとなって販売されています。

今号のひとこと

人生とは、死ぬまでの壮大なヒマつぶし。
どうせ同じヒマつぶしなら、豊かにつぶしたい。
上野千鶴子(1948-)

『上野千鶴子のサバイバル語録』より

「社会に出れば、もっとあからさまな性差別が横行しています。東京大学もまた、残念ながらその例のひとつです。」このように、今年の東京大学の入学式で挑発的とも呼べる式辞を読み上げ、話題となった上野氏。社会の悪習を批判する氏の発言は過去にも物議をかもし、講演会が中止となったこともありました。今回の騒動(?)についても上野氏は「当たり前のことを言っただけ」と涼しい顔。そんな破天荒な彼女の語録『上野千鶴子のサバイバル語録』が入りましたので、ぜひご一読を。